

平成31年度消防本部所管歳出予算（案）の概要について

(単位：千円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較	
消 防 費	1,065,573	807,183	258,390	32.01%
01 常備消防費	998,726	752,796	245,930	32.67%
一般職人件費	668,461	654,177	14,284	2.18%
消防事務費	4,222	4,111	111	2.70%
消防・救急活動費	31,115	29,200	1,915	6.56%
職員研修費	5,153	4,889	264	5.40%
消防庁舎管理費	13,462	14,129	△667	△4.72%
消防庁舎等整備事業	266,773	38,890	227,883	585.97%
消防車両管理費	9,540	7,400	2,140	28.92%
02 非常備消防費	15,977	15,291	686	4.49%
消防団員活動費	14,384	13,844	540	3.90%
消防団施設管理費	496	367	129	35.15%
消防団車両管理費	1,097	1,080	17	1.57%
03 消防施設費	12,760	5,418	7,342	135.51%
消火栓等維持管理費	838	838	0	0.00%
消火栓等整備事業	11,922	4,580	7,342	160.31%
04 水防費	705	705	0	0.0%
05 災害対策費	37,405	32,973	4,432	13.4%
一般会計歳出合計	24,450,000	23,100,000	1,350,000	5.84%
消防費の割合	4.36%	3.49%		0.86%

(単位：千円)

29年度	消防費合計の当初予算額	766,153	=	消防費の割合
	一般会計歳出合計の当初予算額	23,690,000		3.23%
28年度	消防費合計の当初予算額	757,239	=	消防費の割合
	一般会計歳出合計の当初予算額	23,260,000		3.26%

平成31年度主な消防歳出予算（案）について

○常備消防費・消防・救急活動費

事業概要	予算額(円)
・需用費 防刃衣 ×2	97,200
〃 防火頭巾 ×12	71,280
・備品購入費 空気呼吸器用軽量ボンベ ×10	1,188,000

○常備消防費・消防庁舎管理費

事業概要	予算額(円)
・需用費 食堂排気ファン交換修繕	202,908
〃 給湯器修繕	43,240

○常備消防費・消防庁舎等整備事業

事業概要	予算額(円)
・役務費 仮庁舎インターネット引込	30,780
・委託料 指令端末装置移設・備品運搬	3,222,046
〃 確定測量・土地地籍更生登記	623,617
〃 消防署塚越分署サイレン吹鳴装置撤去等	324,000
〃 ※消防署塚越分署建設工事監理（H31年度分）	10,733,184
・使用料 仮庁舎レンタル品（エアコン・ベット等）	937,260
・工事請負費 ※消防署塚越分署建設工事（H31年度分）	234,800,000

※は起債対象・2年間（H31.H32）の継続事業

●非常備消防費・消防団員活動費

事業概要	予算額(円)
・需用費 長靴 ×74足	751,248

●非常備消防費・消防団施設管理費

事業概要	予算額(円)
・需用費 エアコン交換修繕（第5分団）	124,956

蕨市消防塚越分署整備事業計画の概要

1. 計画概要

所在	蕨市塚越4丁目1番9（現地建替）
用途	消防署
敷地面積	393.91 m ²
用途地域／防火指定	第一種住宅地域／準防火地域
建ぺい率／容積率	60％／200％
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上3階
建築面積	233.16 m ²
延べ面積	586.14 m ²
建築高さ	9.95m

2. スケジュール

平成31年5月上旬予定	仮設庁舎へ移転
平成31年7月～平成32年7月予定	新分署庁舎新築工事

3. 事業費

建設工事総額 388,800 千円（継続費）

内訳 建設工事 372,700 千円・管理委託 16,100 千円

（緊急防災・減災事業債）

○平成31年度 266,773 千円

内訳 建設工事費 234,800 千円（工事進捗率 約63%）

管理委託料 10,734 千円（12ヶ月分の8ヶ月）

解体工事費 16,100 千円

測量・登記 624 千円

その他 4,515 千円

（仮庁舎通信運搬費 31 千円・指令端末備品運搬委託 3,222 千円・

サイレン撤去委託 324 千円・備品レンタル使用料 938 千円）

4. 主な特徴

- 双子織をイメージした蕨らしさのある外観
- 鉄筋コンクリート造りで耐震性を高め、自家発を設置して大規模災害に備える建物
- 消防団車両を含めた3台を横並びとし、迅速な出動態勢
- コンパクトながら、空間を有効活用して効率的に各室を配置
- 女性消防職員の当直室、除染スペース、研修室、多機能トイレを新設

資料 2

平成 30 年中の火災・救急の概要について

1 火災件数について

① 年別火災状況

平成31年1月1日現在

年 別	火 災 件 数								焼 損 床 面 積 (㎡)	死 者	負 傷 者	
	合 計	火 災 種 別						車 両				そ の 他
		火 元 建 物					ぼ や					
		小 計	全 焼	半 焼	部 分 焼							
30年中	7	4	1	0	1	2	0	3	337.0	0	3	
29年中	18	13	2	0	3	8	0	5	329.0	0	3	
前 年 比	-11	-9	-1	0	-2	-6	0	-2	8.0	0	0	

② 火災原因

年 別	た ば こ の 不 始 末	コ ン ロ	電 灯 ・ 電 話 線 等 の 配 線	ス ト ー ブ	た き 火	放 火	放 火 の 疑 い	火 遊 び	そ の 他	不 明	合 計
30年中	0	1	2	0	0	1	1	0	0	2	7
29年中	3	2	2	1	0	1	4	0	2	3	18
前 年 比	-3	-1	0	-1	0	0	-3	0	-2	-1	-11

③ 地区別火災件数

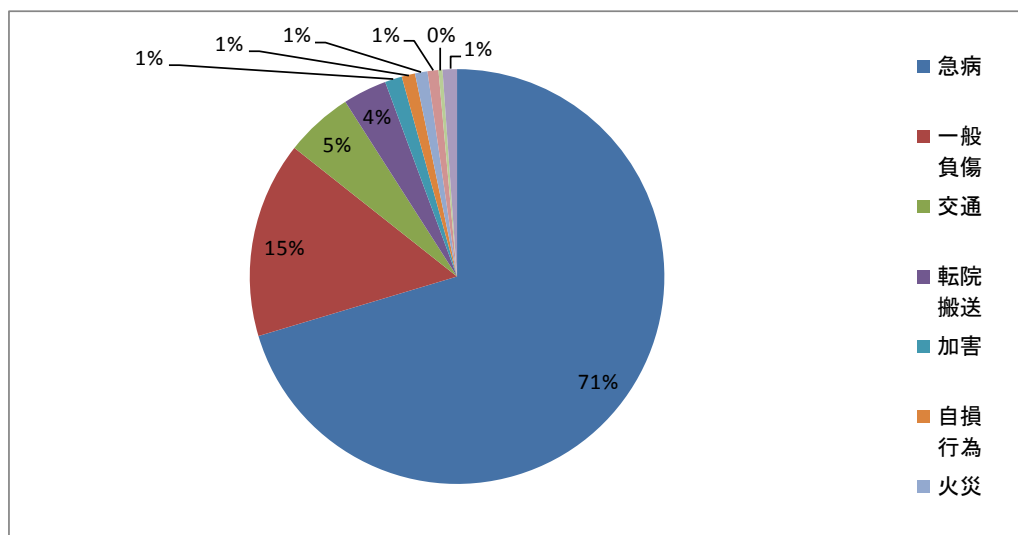
年 別	錦町	北町	中央	南町	塚越	合計
30年中	2	1	3	0	1	7
29年中	0	1	7	4	6	18
前 年 比	2	0	-4	-4	-5	-11

2 救急について

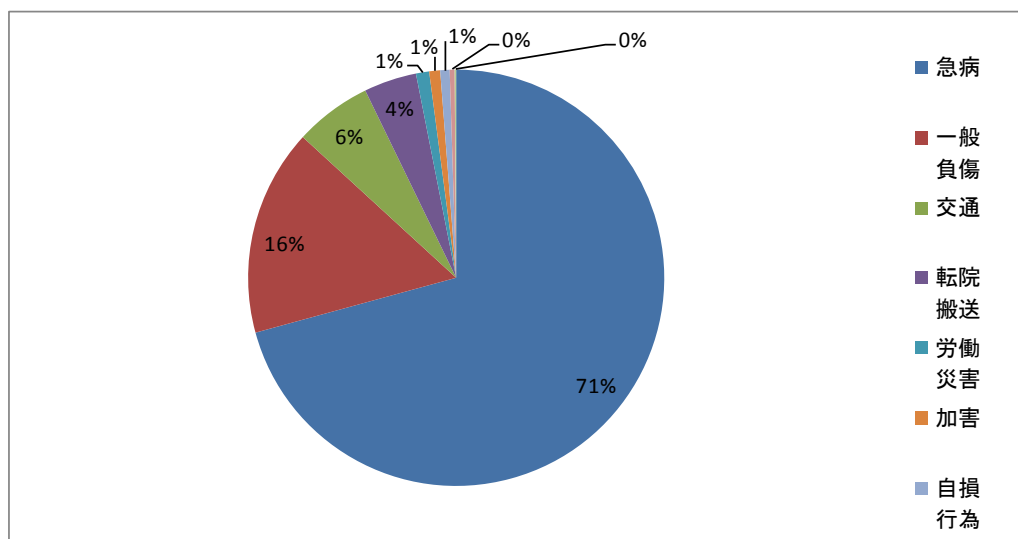
平成31年1月1日現在

年別		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
30年中	出動件数	4,117	40	0	0	218	35	13	629	55	43	2,897	141	46
	比率(%)	100	1.0	0.0	0.0	5.3	0.9	0.3	15.3	1.3	1.0	70.4	3.4	1.1
	搬送人数	3,419	0	0	0	205	35	13	549	29	25	2,419	140	4
	比率(%)	100	0.0	0.0	0.0	6.0	1.0	0.4	16.1	0.8	0.7	70.8	4.1	0.1
29年中	出動件数	3,885	63	0	0	228	19	17	616	55	38	2,658	162	29
	比率(%)	100	1.6	0.0	0.0	5.9	0.5	0.4	15.9	1.4	1.0	68.4	4.2	0.7
	搬送人数	3,315	3	0	0	209	19	17	543	39	20	2,302	162	1
	比率(%)	100	0.1	0.0	0.0	6.3	0.6	0.5	16.4	1.2	0.6	69.4	4.9	0.0
前年比	出動件数	232	-23	0	0	-10	16	-4	13	0	5	239	-21	17
	搬送人数	104	-3	0	0	-4	16	-4	6	-10	5	117	-22	3

出動件数



搬送人数



平成31年春季全国火災予防運動実施要綱

1 目的

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的とする。

2 防火標語 忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

3 実施期間

平成31年3月1日（金）から3月7日（木）までの7日間

4 本予防運動中の重点目標

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- (3) 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- (4) 特定防火対象物における防火安全対策の徹底
- (5) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (6) 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

5 蕨市において実施する内容

- (1) 住宅用火災警報器の設置の徹底及び適切な維持管理の周知及び経年劣化した住宅用火災警報器の交換の促進とたばこ火災・放火火災にかかる注意喚起広報を蕨駅改札にてPRする

※3月1日（金）16時～蕨駅改札に於いて実施予定

ワラビー君とじゃんけん大会（勝者に記念品配布） 防火協会の協力を得て実施

- (2) 放火防止対策を広報する
- (3) 蕨駅・市役所庁舎及び消防庁舎に火災予防横断幕・懸垂幕を掲げる
- (4) 防災無線により広報する
- (5) 消防車両・消防団車両・危険物運搬車両にてステッカーを貼付し、消防車両・消防団車両にて適宜広報する
- (6) 広報わらびに火災予防啓発文を掲載する
- (7) ホームページにて住宅用火災警報器の普及啓発及び点検、交換の促進
- (8) わらびケーブルテレビにて火災予防運動を周知する
- (9) 住宅防火「いのちを守る7つのポイント」を活用し広報する

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

— 3つの習慣・4つの対策 —

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。